

令和 3 年度

事業者番号

2049

事業所番号

204901

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が ³ 1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	テイ・エス テック株式会社 埼玉工場		
事業所所在地	市区町村	行田市	
	字・地番	野3600番地	
産業分類名(中分類)	31 輸送用機械器具製造業		
分類番号(中分類)	31		
事業活動の概要	事業内容	主な製品：四輪車用シート、四輪車用内装品の製造 従業員数：304名	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	令和2年度、令和3年度は基準排出量に対し平均削減率を6%以上とする。 令和4年度~令和6年度は基準排出量に対し平均削減率を13%以上とする。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	19,055	t-CO ₂	第2区分	
	削減目標量(計画期間合計)	2,165	t-CO ₂		

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,034				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源 CO ₂	2,040				
前年度比 (%)	—				
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六フッ化イオウ				
三フッ化窒素					
温室効果ガスの合計	2,040				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	0.0190				
前年度比 (%)	—				
活動規模の指標単位					

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
令和2年度 (2020年度)	生産量の減少(▲33%)により、CO2排出量が減少しました。 ※R1生産台数実績160,742→R2生産台数実績107,283					
令和3年度 (2021年度)						
令和4年度 (2022年度)						
令和5年度 (2023年度)						
令和6年度 (2024年度)						

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	4,244	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	4,244	4,244	4,244	4,244	4,244	21,220	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	6.00%	6.00%	13.00%	13.00%	13.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							19,055
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							2,165
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	2,040					2,040	
	削減率 (F = (A - E) / A)	51.93%					—	
	排出削減量 (G = A - E)	2,204					2,204	
各年度の排出量の検証		未実施						

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	370700	電動応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	生産設備のエネルギーロス削減 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	15.0
2	330200	空気調和設 備・換気設備	33_加熱及び冷却並 びに伝熱の合理化に 関する措置	構内空調エネルギーロス削減 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	10.0
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	照明の省エネ化	R1以前	R1以前	5.0
4	310400	一般管理事 項	31_エネルギー使用 量の管理	電力監視システム、デマンド管理によ るエネルギーロス削減 <第3計画期間も継続>	R1以前	R1以前	5.0
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	照明のLED化	R1以前	R1以前	167.0
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	照明のLED化	R1以前	R1以前	84.0
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	照明のLED化	R1以前	R1以前	19.0
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄